



第34号
2026年4月発行 津市図書館

☆ 主な内容 ☆

美里図書館 講座の紹介 ***** 表紙
安濃図書館 イベント報告 ***** P2
知ろう私たちの郷土 ***** P3
レファレンス事例／ランキング***** P4

**美里図書館講座 手づくり講座
お正月飾りの【ミニ門松】を作りました**

美里図書館では、令和7年12月14日(日)にハーバリウムコーディネーターの中村章子さんを講師に招き、アーティフィシャルフラワー(造花)などを使用したオリジナルのお正月飾りを一緒に作りました。参加した方からは、「すごく親切に教えて頂き、うまく作れました。」「なごやかな雰囲気楽しく出来ました。」「季節ごとにこういう講座がしてもらいたい。」などのお声をいただきました。初めて参加された方がほとんどでしたが、「来年も参加させてほしい。」と言われるほど、和気あいあいとおしゃべりされながら楽しんでいただけたこと、そして美里図書館に来館していただくことが何より嬉しく思いました。



切り絵体験教室



令和7年10月26日(日)、安濃図書館2階学習室において、伊勢型紙彫型画会会員の小粥靖浩さんを講師にお迎えし、切り絵体験教室を開催しました。

事前にお申し込みいただいた10名の参加者の皆さんは、はじめに小粥さんからデザインナイフの基本的な使い方について説明を受けた後、犬や猫、

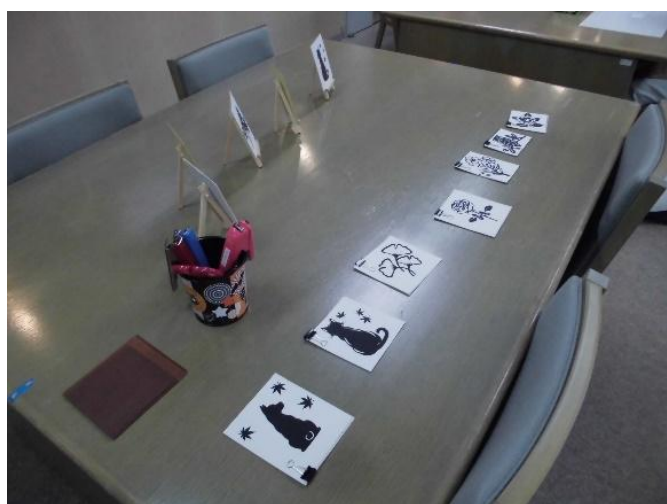


バラ、銀杏、紅葉などのイラストが描かれた題材の中から好みのものを選び、制作に取り組みました。

伊勢型紙に使用する渋紙の上にイラストの題材を重ね、白い部分をデザインナイフで切り抜く工程では、細かな部分に刃を入れながら、切り過ぎないように慎重に作業を進める必要があり、参加者の皆さんは苦労しつつも時間をかけて作品作りに没頭されていました。

仕上げとして、約10センチ四方の色紙に切り抜いた渋紙を糊で貼り、ミニイーゼルに飾って完成となりました。完成した作品を眺めながら、達成感を味わう方や満足そうな表情を浮かべる方の姿も見られました。

開始から約1時間30分後には、すべての参加者が作品を完成させ、それぞれ大切に持ち帰られ、教室は盛況のうちに終了しました。



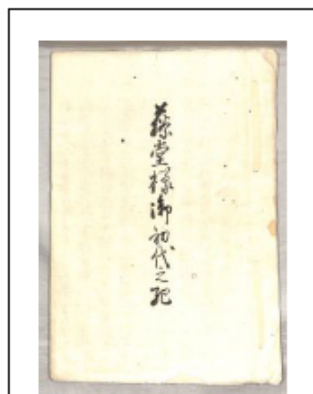
『藤堂様御初代之記』—津図書館所蔵の藤堂高虎一代記—

川上 裕子

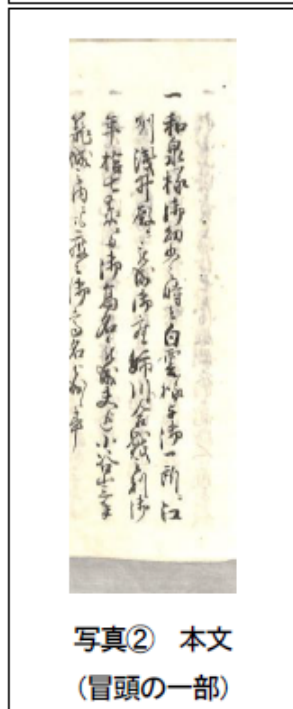
今年(2026)年は、藤堂高虎の生誕470年に当たる。彼は弘治二(1556)年生まれで、寛永七(1630)年に没した。築城の名手や津藩初代藩主としてご存じの方も多いただろう。彼に関する資料は多く存在し、津図書館の貴重資料の一つである「稲垣文庫」の第二次寄贈分には『藤堂様御初代之記』(稲⑤-113/以下『初代之記』)

(写真①～③)という資料がある。これを含めた第二次寄贈分の資料については、順次公開予定であるが、今回はそれに先駆けて紹介しようと思う。

この資料は、高虎初陣の姉川合戦(元亀元(1570)年)での働きに関する記事(写真②)から始まり、上野の東照宮建立(寛永三(1626)年)までの間の主な出来事や逸話について、年代順の一通書きで記したものである。全十八丁の写本で、嘉永四(1851)年に信篤(稲垣家六代目当主)が書写したとの奥書がある。本文の末には寛永十八(1641)



写真① 表紙

写真② 本文
(冒頭の一部)

せふる ものとも かきつけもうしろうろう
勢古キ者共(中略)書付申候」とあり、昔からの家臣を集めてまとめられた資料であると記し、続けて「井上重右衛門・百々太郎兵衛・西島八兵衛・藤堂主膳・藤堂采女・藤堂仁右衛門」と編集に関わった家臣の名前が挙がり(写真③)、差出先として「藤堂監物殿」以下二名の名がある。また、「伊賀伊



写真③

勢御家中討死覚」として討死した家臣の名前を挙げ、最後に嘉永四年の奥書を記す。

この資料と同内容の資料はこれまでも多く確認されている。今回、その一つである石水博物館所蔵の『藤堂家覚

書』(『三重県史研究』第36号に掲載の翻刻版)と『初代之記』と比較したところ、内容の構成や文章に多くの共通点が見られた。一方で、『初代之記』の方が漢字表記は多く、一部の項目・文章・語句や「伊賀伊勢御家中討死覚」の記事の有無といった違いも見られた。こうした点については、他の諸本との関係も含めて考察する必要があるだろう。

研究者による今後の調査研究を待ちたい。

参考文献

中村勝利編著『藤堂藩・諸士軍功録』(三重県郷土資料刊行会 1985年)、津図書館展示パンフレット「藤堂家の事跡展」(2008年)、福井健二著『築城の名手 藤堂高虎』(戎光祥出版 2016年)、桐田貴史著「石水博物館所蔵「藤堂家覚書」の紹介と分析」(『三重県史研究』第36号所収 三重県環境生活部文化振興課歴史公文書班 2021年) [他]

※石水博物館様には、御多忙のところ資料についてご教授いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

◇お知らせ◇

津図書館の古典籍(貴重資料)の閲覧については、閲覧希望日の1か月前までの事前申請にて受け付けています。詳しくは津市図書館ホームページをご覧ください。ご理解とご協力をお願いします。



レファレンス事例(図書館では調べもの相談(レファレンス)を受け付けています)

Q: 軽便鉄道の載っている本を探しています。

A: 津ふるさと学検定テキストブックに資料があり紹介しました。

中勢鉄道、明治42年から昭和18年まで、岩田橋から久居経由で白山の川口まで走っていました。通称「軽便」と呼ばれました。マッチ箱の様な客車を引っ張って、人が走る方が速いぐらいの安全運転で沿線の人々に親しまれていましたが、戦時中の金属供出で昭和18年に廃線となったとあります。三重の軽便鉄道も併せて紹介しました。

参考図書: 『津ふるさと学検定テキストブック』 一般社団法人津市観光協会 L231 ツ

『三重の軽便鉄道』 三重県立博物館 L686 ミ

(一志図書館)

ベストリーダー2025 こんな本が読まれました (2025/1/1~12/31)

2025年に津市図書館で貸し出された本のうち、貸出上位の本(ベストリーダー)をご紹介します。

一般書部門

順位	資料名	著者名	出版者	分類
1	おしゃれな大人が実は!愛用している 270の服・小物		主婦と生活社	589.2
1	姿勢のゆがみ図鑑	柴雅仁/林慧亮/著	小学館	498.3
3	嫌われる勇氣	岸見一郎/古賀史健/著	ダイヤモンド社	146
4	そういうゲーム	ヨシタケシンスケ/著	KADOKAWA	726.6
5	三重のトリセツ		昭文社	291.5



文学部門

順位	資料名	著者名	出版者	分類
1	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東野 圭吾/著	光文社	913.6(F)
2	クスノキの女神	東野 圭吾/著	実業の日本社	913.6(F)
3	架空犯	東野 圭吾/著	幻冬舎	913.6(F)
4	白鳥とコウモリ	東野 圭吾/著	幻冬舎	913.6(F)
5	ブラック・ショーマンと覚醒する女たち	東野 圭吾/著	光文社	913.6(F)

児童書部門

順位	資料名	著者名	出版者	分類
1	パンどろぼう vs にせパンどろぼう	柴田 ケイコ/作	KADOKAWA	E
2	ノラネコぐんだんピザをやく	工藤 ノリコ/著	白泉社	E
2	ノラネコぐんだんアイスのくに	工藤 ノリコ/著	白泉社	E
4	パンどろぼうとりんごかめん	柴田 ケイコ/著	KADOKAWA	E
5	パンどろぼうとほっかほっかー	柴田 ケイコ/著	KADOKAWA	E

